

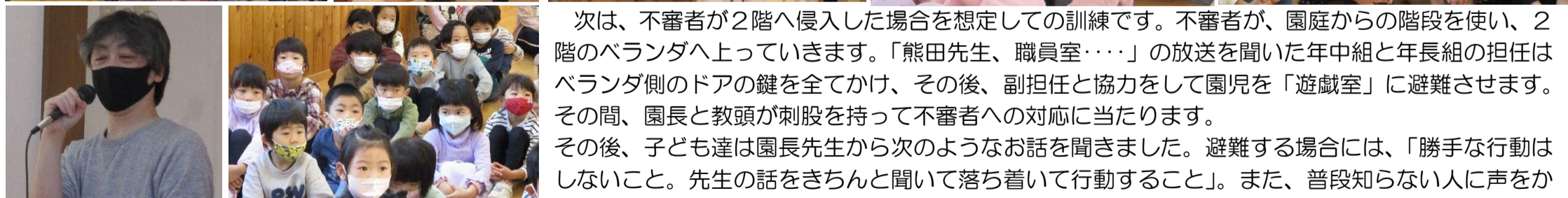
避難(防犯)訓練を実施！大阪市の事件を受け、「不審者対策訓練」を！～大切なのは先生のお話をしっかりと聞くこと～ 《11/18》

11月18日(金)、幼稚園で「避難訓練」を実施しました。今回は、「今年の10月24日に大阪市内の小学校で不審者が侵入し、上半身裸で暴れ回るという事件」を受けて、「不審者が園内に侵入した場合」に、どのように対処するかを想定して行いました。



子ども達は、いつものように各保育室で「朝の活動」を行っています。すると、不審者が幼稚園の正門から侵入し、園舎入口の門扉を開けて園庭の方向へやってきました。不審者の行動に気づいた乳児棟の事務員が、すぐに電話で幼稚園の事務室に内線にて連絡を入れます。連絡を受けた河井先生が、様子を見に園庭へ（その間、不審者は1回のベランダ付近から年少組の様子をうかがっています）。河井先生がすぐに、「熊田先生、職員室に来てください」と1階に放送を入れます（「熊田先生、職員室に来てください」というのは、不審者が現れたときにすぐに対応するという暗号です）。

すぐに、園長と教頭が刺股を持って不審者への対応に当たりました。同時に、クラス担当の先生方は、年少組の園児を静かに2階の遊戯室に避難させます（前方の誘導：担任、後方支援：副担任と役割を分担して）。



次は、不審者が2階へ侵入した場合を想定しての訓練です。不審者が、園庭からの階段を使い、2階のベランダへ上っていきます。「熊田先生、職員室……」の放送を聞いた年中組と年長組の担任はベランダ側のドアの鍵を全てかけ、その後、副担任と協力をして園児を「遊戯室」に避難させます。その間、園長と教頭が刺股を持って不審者への対応に当たります。その後、子ども達は園長先生から次のようなお話を聞きました。避難する場合には、「勝手な行動はしないこと。先生のお話をきちんと聞いて落ち着いて行動すること」。また、普段知らない人に声をかけられた場合、「いかのおすし」を心がけること。知らない人には「ついていかない」、知らない人の車には「のらない」、あぶないと思ったときに「おおきな声をだす、すぐに逃げる、大人にしらせる」ことが大事だというお話を聞きました。

大阪市での事件を受け、以前もお知らせいたしましたが本園では次のような対策を行っています。

- 1 不審者の接近を制御（抑止力を高める）するため、「防犯カメラが設置されていること」を施設内の目立つ場所（幼稚園入口）に掲示しています。
- 2 監視性を確保するため、事務担当の職員が事務室に常時いるように心がけています（防犯カメラのモニターチェックも同時に行っています）。

また、不審者が来た場合にすぐに対応できるように「刺股」を常備しています。

3 午前10時～午後1時50分の間、午後3時40分頃から園児全員が降園するまで、出入口であるの「門扉」を閉めるようにしています。

4 不審者対応に係る「防犯訓練」を実施しています。（事前に職員の役割分担を明確にして訓練を実施している。……不審者に対応する先生、子ども達を安全に避難させる先生、警察など関係機関に連絡をする先生等。また、あらかじめ職員間での「合言葉」を定め、緊急時に園児に動揺を与えることなく情報伝達ができるようにしています。

